

業務要件定義成果物サンプル&ガイド

DG-211：概念データモデル定義

第1.10版

2018年08月29日



この作品は [クリエイティブ・コモンズ 表示 - 継承 4.0 国際 ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) の下に提供されています。
要件定義フレームワーク©2018 TIS INC. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(表示-継承 4.0 国際)


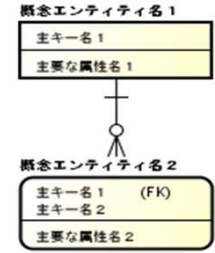
1. 概要

業務で取り扱うデータとデータ間の関連を定義する。

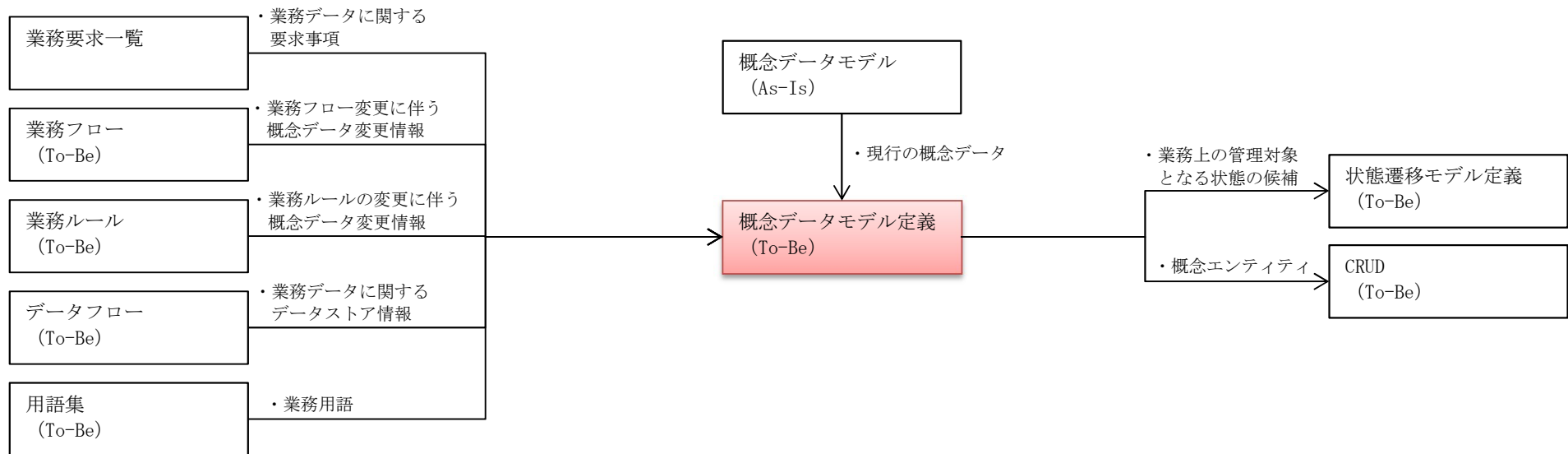
2. 使途

- お客様と以下を合意する。
 - ・業務で取り扱う概念エンティティが網羅的に定義されていること。
 - ・業務で取り扱う概念エンティティ間の関連性が妥当であること。
- 概念データモデル定義から業務上の管理対象となる状態候補を抽出し、状態遷移モデル定義の作成を検討する。
- 概念データモデルの概念エンティティをインプットに、CRUD図を作成する。

3. 記入要領

No	記述内容	記述内容説明	表記例 (ER図：IE表記)	補足
1	概念エンティティ名	業務で取り扱う、人・物・場所といった実体や概念の名称を記述する。		・概念データモデル定義では、各概念エンティティの区分（リソース系、イベント系、サマリ系）も定義すると良い。
2	主要項目名	概念エンティティ毎の主要な項目名（主キー名と主要な属性名）を記述する。		・主要な属性名は、複数の論理的なカラムを取りまとめた記述レベルで良い。
3	関連性	概念エンティティ間に何らか業務上の関係がある場合に、関連線を記述する。		・業務で取り扱うデータの関連性を把握することを目的としているため、正規化は必須ではない。
4	多重度	概念エンティティ間の多重度を記述する。		

4. 他成果物との関係



5. 表記例

